

## 【平成 29 年 1 月から平成 29 年 12 月まで総合診療科入院中に誤嚥性肺炎治療を受けた患者さん、及びご家族の皆さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

誤嚥性肺炎患者における入院後の食形態<sup>\*1</sup>変化にみられる臨床背景

\*1:食形態とは入院後に提供される食事の形態の事です。

例：ゼリー、ミキサー食（ペースト）、刻み食（みじん切り）、  
軟菜食（固形）など

### 【研究背景・目的】

わが国の肺炎死亡数は年々増加傾向であり、平成 23 年以降は脳血管障害にかわり死因第 3 位で全体の 9.4%です（平成 27 年厚生労働省人口動態統計参考）。高齢化に伴い肺炎死亡率は増加し、97%は 65 歳以上が占めています。当院の誤嚥性肺炎での入院患者数も年々増加・重症化しており、入院後の飲み込みの力や入院中の食事にも影響しています。よって、誤嚥性肺炎の入院患者さんにおいて、入院前の情報や入院後の体力や血液データなどを調べ、退院時に『お食事ができているか』や『何を食べているか』を調べ、お食事が上手くできなくなった理由を分析します。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 30 年 6 月 19 日から平成 31 年 3 月 31 日です。
- ・対象：平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までに誤嚥性肺炎の診断で総合診療科へ入院された患者さんです。
- ・取得情報：
  - 年齢・性別・病前 ADL（介助量）・病前環境（生活環境）・病前食形態
  - 既往歴（脳血管障害、認知機能低下、糖尿病、心疾患、呼吸器疾患、誤嚥性肺炎の有無）
  - 在院日数・FIM 値（入院初期・最終）・血液データ（WBC、CRP、Alb、TP）
  - 抗生剤投与期間、入院から経口摂取開始までの期間・藤島嚥下 Gr（初期・最終）
  - 入院後食形態（初期、最終）・食形態後退理由

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 リハビリテーション部 井本 俊之

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 リハビリテーション部 井本 俊之

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）